

題材名 穴あき2コマ～漫画による表現～（絵画）

穴の形を活かして、2コマ漫画で表現する活動

学年	2 年
場所	金 工 室

1 題材について

本題材「穴あき2コマ」は、生徒にとって身近な漫画の表現について、より関心を持たせ、表現する力を育みたいと考えた題材である。

授業では、2つに折って穴を空けたケント紙に漫画的な手法を用いて描く表現活動と、生徒同士による鑑賞活動を通して学習する。本題材は、学習指導要領第2学年及び第3学年の内容「A表現」(1)ア(ア)対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること」及び、「(2)ア(イ)材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表すこと」「B鑑賞」(1)ア(ア)造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。〔共通事項〕(1)ア、イにあたる。

生徒は始めに、数枚の参考作品を鑑賞する。それぞれの参考作品には漫画表現の5つのポイント(①物語性がある②線に強弱がついている③音が表されている④効果線が使われている⑤ふきだしが使われている)をそれぞれ満たしているかが示されており、生徒はそれを基に漫画特有の表現について考える。

制作では、考えたポイントをできるだけ満たすことのできる主題や構成を考え、表現活動を行う。時間の経過を用いた表現のおもしろさや、線の強弱による印象の違い、言葉を用いることで分かりやすく伝える表現の工夫といったポイントは、本題材で主にその良さに気付かせ、表現に活用させたい漫画表現のポイントである。また、生徒は1枚目に空けた形の穴を活用して表現を行う。形に注目して想像力を働かせ、画面を構成する活動を通して、発想や構想をする力を育てたい。表現には、デザインナイフやポスターカラー、ペンを使用する。これまでに学習した平塗りの技法を活用しつつ、どのような手順で制作を進めるとよいか、見通しをもって考えられるようにしたい。

本題材は、主題を発想する力が重要な題材となる。生徒にとっては、アイデアを考えることが困難なことも予想される。穴の形から着想を得たり、擬音語や日常生活からイメージしたりできるように、様々な角度から発想するよう指導したい。また、作品完成後はお互いに完成した作品を鑑賞し合う活動を行う。紹介された表現のポイントだけに拘らずに、それぞれの工夫を感じ取れるよう、お互いの作品を認め合う活動としたい。

2 題材の目標

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>ポスターカラーやペン等の特性を生かし、制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって制作する。</p> <p>表現したいイメージをもちながら、漫画表現のよさを作品に活かせるよう、表現方法を適切に工夫して創造的に表す。</p>	<p>参考資料を見て考えたポイントや、感じ取った形の特徴、考えたことや想像などを基に、主題を生み出す。</p> <p>穴の形や構図などを工夫し、心豊かな表現の構想を練る。</p> <p>作品を鑑賞して、作者の工夫や漫画表現のよさを感じ取る。</p>	<p>漫画による表現の特徴や、広がりについて関心をもつ。</p>

3 指導計画（8時間扱い）

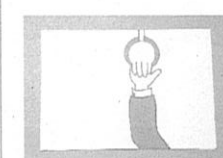

- 参考作品を鑑賞して漫画表現の特徴を考える _____（本時） 1
- ポイントを基に、よりよい表現を目指して構想を練る _____ 2
- 材料や用具、表現方法を総合的に考え、見通しをもって制作する _____ 4
- お互いに作品を鑑賞し合い、それぞれの工夫や考えたことを感じ取る _____ 1

4 材料・用具 等

A4ケント紙、ポスターカラー、ペン、デザインナイフ、カッターマット、B5色画用紙、のり
本時の指導

○本時の目標と学習課程

- ・作者の意図と創造的な表現の工夫を感じ取り、作品のよさを自分の価値意識をもって味わうことができる。
- ・参考資料を見つめ感じ取ったこと、考えたことなどを自ら表現することに関心を持つことができる。

学習活動と内容	教師の支援 ★評価
○作品の概要を知り、学習の見通しをもつ。	○参考作品を使って作品の概要を伝える。
この作品の表現の特徴を考えよう	
<p>○参考作品を見比べながら、個人でワークシートにポイントを考える。 (参考作品の例)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>(1枚目)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(2枚目)</p> </div> </div> <p>○班でそれぞれが考えたポイントについて話し合う。</p> <p>○班で話し合った5つのポイントを発表する。</p> <p>○5つのポイントをワークシートに記録する。</p> <p>○漫画表現の特徴について、スライドを通して確認する。</p> <p>○本時の学習を振り返る。</p> <p>○係はワークシートと振り返りシートを提出する。</p>	<p>○ワークシートを配り、参考作品と○×の見方を説明する。</p> <p>発問「作品に使われている5つの表現のポイントは何でしょうか？」</p> <p>○参考作品を各班に配る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかなかポイントが思い浮かばない。 ・すぐに友達と話し合ってしまう。 <p>○どの生徒も幾つかは条件が思い浮かぶように、参考作品には、ポイントが判りやすいものも並べておく。</p> <p>○後で相談する時間があることを伝え、まだ友達と相談せずに自分で考えるよう指示をする。</p> <p>★作品を観て、表現のよさや工夫を感じ取ることができたか。【ワークシートの記述】(思考・判断・表現)</p> <p>○5つのポイント以外にも、工夫を感じられたものがあれば取り上げる。</p> <p>○漫画表現と、日本における絵画表現との結びつきについて紹介する。</p> <p>○それぞれの表現の効果や、様々なバリエーションについて紹介し、制作に活かせるようにする。</p> <p>○スライドを観て感じたこと、自分と違った意見を聞いて思ったことや、話し合いを振り返って気づいたことはないか助言する。</p> <p>○次回までに少しアイデアを考えておくよう促す。</p> <p>★作品に興味を持ち、漫画で表現することに関心をもつことができたか。【振り返りシートの記述】 (主体的に学習に取り組む態度)</p>